

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212U301	老年看護方法論Ⅱ (Gerontological Nursing Practice Ⅱ)	専門教育科目 老年看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	3	前	木・3, 4	三重野英子・小野光美・阿部世史美 内線：5093 E-mail：eikomi@

#### 【授業の概要・到達目標】

高齢者とその家族が、地域社会の中で健康にその人らしく生活できるよう、個別的な看護を展開するための基礎的能力を養う。既習の「老年看護学概論」「老年看護方法論Ⅰ」「高齢者支援システム論」、関連諸科学・看護学の知識および基礎看護学実習ⅠⅡでの看護実践経験を統合し、老年看護のプロセスと適用する看護技術の原理原則を探究する。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 高齢者の全体像をとらえるアセスメントの視点と方法を説明する。	○		○				
2. 高齢者の End of Life Care の実際を知り、人生の最終段階を支えるケアの本質を考え述べる。	○			○			
3. 高齢者の生活機能の維持・向上に向けた日常生活援助技術の原理原則を検討し説明する。	○		○				

#### 【授業の内容】

1～4	1. 高齢者の全体像をとらえるアセスメントの視点と方法 ・アセスメントの枠組み、観察・測定技術を用いた情報収集、事例検討
5～7	2. 高齢者の End of Life Care の実際と人生の最終段階を支えるケアの本質 ・高齢者の死・看取りに関する社会的課題 ・高齢者の End of Life Care の特徴と看護職の役割
8～11	3. 高齢者の生活機能の維持・向上に向けた看護のプロセスと技術 ・摂食嚥下障害がある高齢者の食事援助 ・介護予防と心地よさ（コンフォート）を提供するフットケア

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	事前課題、学習記録による振り返り	・動画教材や看護実践事例を用い、老年看護のイメージを拡げる。 ・学生個々が考え、意見を述べる機会を頻繁に設ける。
B：意見の表現・交換	○	発問、グループ検討	
C：応用志向	○	技術演習、グループによる事例検討・発表	
D：知識の活用・創造			

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	指定された事前課題に個人で取り組む。既習の授業科目の配布資料、教科書等を用い、次回の学修内容について予習する。(14.5h)
事後学修	授業資料、事前課題、教科書を用い、授業で学修した内容を復習する。(14.0h)

【教科書】北川公子著者代表（2022）：系統看護学講座 専門分野Ⅱ老年看護学（第9版）、医学書院。

【参考書】水谷信子他監修、三重野英子他編集（2024）：最新老年看護学（第4版）、日本看護協会出版会。

#### 【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3
期末試験	90%	○	○	○
学修記録の内容	10%	○	○	○

【注意事項】毎回、学修記録の提出（Moodle のアンケート）をもって出席状況を確認する。

【備考】大学の感染対策方針に基づき、オンライン授業に変更する場合がある。

適時、授業資料や教材を Moodle にアップロードする（アップ時、メールで通知）。

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	三重野（看護師）、小野・阿部（看護師、保健師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	・看護師としての活動経験をいかし、高齢者事例を教材に講義・演習を行う。	
授業形態	面接授業	